



広い玄関は家の「顔」、石材で装えつつも、お風呂にも目とめるとして、土質を空間が生まれる。目の差し込み方で表情が変わる格子戸の影も「装飾」のひとつ



田の字型に住切られていた壁の梁をひとつにつなげ、現代のライフスタイルに合う大空間を創出。床には厚さ3cmの無垢材を入れて断熱性を確保。また、在中段の梁裏様に高い吹き抜けがあるからこそ大きな照明もパワースタイルが取り、現代風の照明器具が併用可能。

クラシックでエレガントな印象を受ける薪ストーブのコーナー。新しい付け柱にも自然素材で美しい塗装を施すことで、長い歳月を経てきたような風情が生まれる

日本の家を次代に受け継ぐ。

ハウスランド社

「和の家 吉木」

Studio Wanoie Yoshiki

幅広いタイプの注文住宅の提案でも高く評価される「ハウスランド社」。同社が大事にする古民家再生への想いを紹介。

無限の可能性が広がる。古民家は「財産」です。

「まるで高級旅館みたい……」。こんな家に住めたら本当にいいよね。訪れた人は皆そう言って、深く、静かに感動をかみしめる。大塚府近くに建てられた「ハウスランド社」の古民家再生モデル住宅「和の家 吉木」。ここは昭和初期に建てられた古民家を奇り豊かな無垢材と、人や環境に優しい自然素材を用いて再生したモデルハウス。ハウスランド社の「和の家」の技と感性が息づく集大成といってもいい。同社がここの地に「和の家 吉木」を再生して15年モデル住宅としては異例ともいえる長い歳月だが、それだけに、時間を経つほどに美しさが深まる。木造住宅の魅力が伝わってくる。

「ハウスランド社ではお客様の好みやご要望に寄り添った注文住宅を建てています。古民家を再生したモデル住宅は、弊社の技術力や高品質を活かす感性・素材・作り手・職人など、内装に用いる素材の質感を肌で感じたいだけけるスタイルとして、私たちの家づくりへの想いが詰まっています。」

そう話してくれたのは、ハウスランド社の建築士であり、古民家鑑定士の資格も持つ「主要さん」。女性の目線を大切にしながら家づくりを行ってきた。古民家を再生する場合はまず構造体の状態を見て安全性を確認する必要がある。主要さんはこうした調査から古民家再生に関わり、現代のライフスタイルに合った住空間へ生まれ変わるためのプランを提案してくれる。

「女性の古民家鑑定士はまだまだ少なく、現場に行くことも珍しがられます。古民家を大切に再生して、これだけの家族の想いを寄せながら皆さんに喜んでいただけるような家の再生の道をお客様と一緒に探ります。お気軽にご相談ください。」



長い軒を持つ日本古来の伝統的な住まいの魅力をもつ再生。家の周辺の緑の野趣あふれる表情とも美しく調和する。軒下はストープ用の薪を管理するにもいい空間だ

